

Weekly コラム

令和3年12月21日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

師 走

師走(しわす、しはす)とは陰暦(旧暦)12月のことを指し、陽暦(新暦)12月の和風月名として知られています。一般にいわれている、僧が経をあげるために東西を馳せるという由来は、信憑性のあるものなのでしょうか?師走の別名や異称とともに解説してみます。

明治初頭より陽暦を採用した日本では、12ヶ月を1月~12月の数字で表しています。しかし、それ以前は、季節感がわかるような和風月名で各月を表現しており、その最後の月を「師走」と呼んでいました。

「師走」は「しわす、しはす」と読み、その意味・由来・語源には諸説があります。もっとも有名な説は、師匠である僧侶がお経をあげるために東西を馳せる月という意味の「師馳す(しはす)」だということです。この「師馳す」は平安末期の「色葉字類抄(いろはじるいしょう)」の説明によると民間語源とされ、現代の「師走」はこの説をもとに字が当てられたと考えられています。他にも、年が果てるという意味の「年果つ(としはつ)」が「しはす」に変化した説もあり、万葉集のころから「シハス」と呼ばれていたとの説もあります。また、四季の果てる月を意味する「四極」を語源とする説、一年の最後になし終えるという意味の「為果つ」を語源とする説などがあります。

さて、師走には別名や異称で表されるさまざまな呼び名があります。その幾つかを紹介しておきます。

苦寒(くかん)

陰暦の師走は立春の直前となり、もっとも寒さが厳しい時期です。寒さに苦しむという意味を持つ「苦寒」とも呼ばれました。

三冬月(みふゆづき)

陰暦10月から続く、3番目の冬の月ということから「三冬月」とも呼ばれたようです。

歳極月(としはすづき)

一年の最後、歳の終わりを指して「歳極月」とも呼ばれたようです。

他にも、黄冬(おうとう)、弟月(おとづき)、暮来月(くれこづき)などと呼ばれていました。

陰暦でも陽暦でも、一年の最後の日には「大晦日(おおみそか)」といいます。晦日が、毎月の末日を指すため、年の最後の末日に「大」を付けて大晦日になったというわけです。

皆様方にとって喜ばしい「師走」になりますよう、願っています。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。